



「かめおかみらいさんぽ」とは

亀岡市は、2025年に市制70周年を迎えました。亀岡市が生まれて70年、変わったことも多いけれど、市民の皆さんによって大切に受け継がれているものも多いはずです。

「かめおかみらいさんぽ」は、亀岡市の歴史や今、そして未来をさまざまな人の視点になって考え、学びながら遊べるボードゲームです。市制70周年記念事業として、亀岡市の歴史の中で受け継がれてきたものを改めて見つめ、今の亀岡の魅力や可能性を考え、「こんな亀岡に暮らしたい!」と想像して作られた、未来の亀岡の地図です。

「かめおかみらいさんぽ」を制作するためワークショップを開催し、子どもから大人まで、幅広い年齢と様々な職業の亀岡市民が集まりました。みんなで話し合い、言葉や絵で発表したたくさんアイデアを未来の地図につめこんでいます。

30年後、亀岡市が100歳を迎えるときに、今想像した未来がどこまで実現できているでしょうか。未来を楽しみに、亀岡と一緒に歩むための「かめおかみらいさんぽ」を一緒に遊んでみましょう!



「MIJI-SUS (みぢサス)」ってなんだろう?

SDGsという言葉が広まる一方で、「私たちの生活とSDGsがどのように関係しているのか想像できない」という声も聞えます。そこで、日常生活で見つけることができる身近なサステナビリティを写真で撮影し、記録するとともに、カード化して共有するプロジェクトが「MIJI-SUS (みぢサス)」です。

(参照: <https://www.cosmo-takagi.com/s-projects-side-by-side>)

「いたばしさんぽ」の後輩です!

このゲームは東京都板橋区が制作した「いたばしさんぽ」関連データ等を使用しており、SDGsと身近な暮らしの接点を見つけるツール「MIJI-SUS」を援用しています。

ワークショップ「かめおかみらいさんぽをつくろうよ!」を開催しました!



1 ゲームを始める準備をしよう

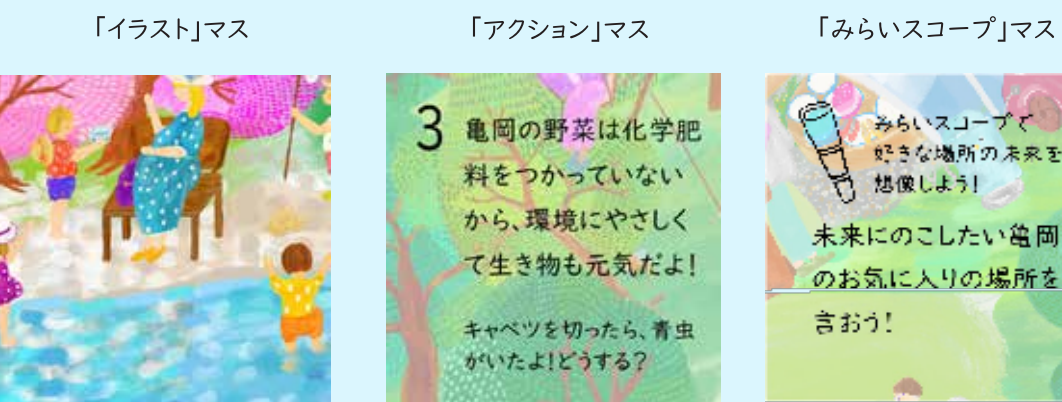
・まず、コマとサイコロを用意しよう!

コマは自分の好きなものを用意しよう。キーホルダーや消しゴムを使ってもよいし、イラストデータを印刷したものを使うこともできるよ!

サイコロが手元になれば、サイコロのイラストデータを印刷をしよう! 印刷したデータは、ハサミで切り取って、セロテープで貼り付けよう。

・このゲームは、①イラストマス②アクションマス③みらいスコープマスの、3種類のマスがあるよ。

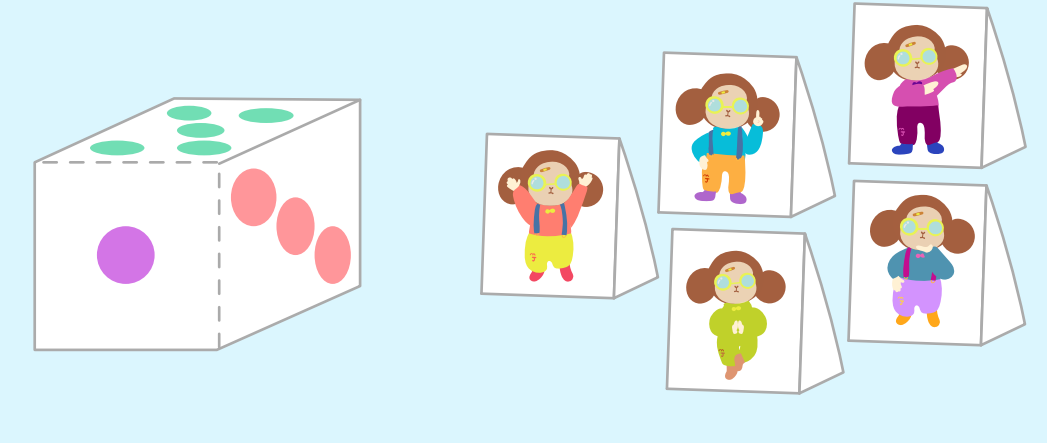
・スタートするマスは自分で決められるよ!好きな「イラストマス」にコマを置こう。気になるイラストマスはどれかな?



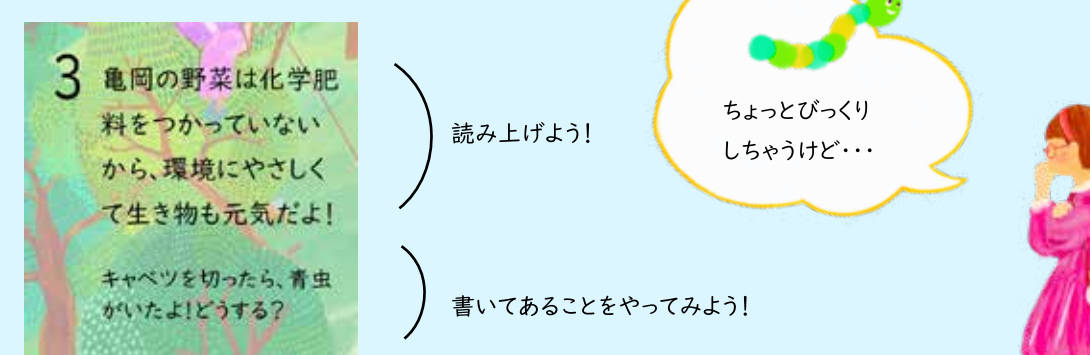
・サイコロを振って、コマを進めよう。進む方向はタテとヨコだよ。ナメは進めないので注意!

・ゴールに向かって進むゲームじゃないよ。「かめおかのみらい」を自由に「さんぽ」してみよう!

・ポイントシートのすべての枠に「✓」がつくと、いいね!



2 アクションマスにとまったら、アクションにチャレンジ!

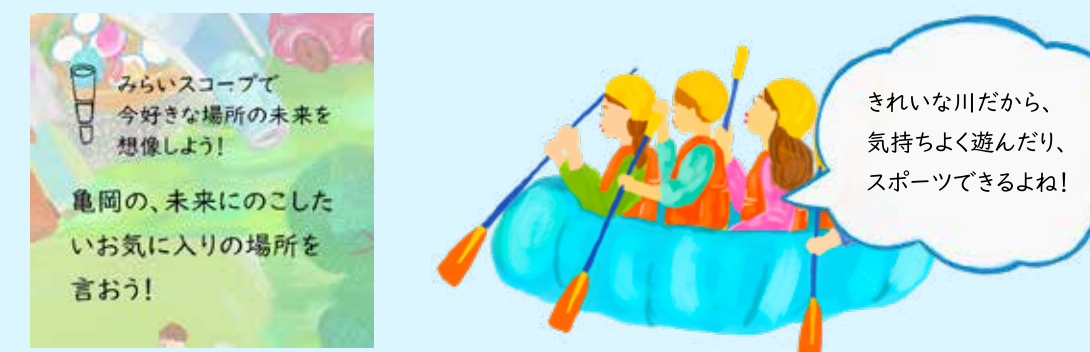


・アクションマスに書いてある言葉を読み上げよう! 30年後の亀岡を散歩していると見えてくる、未来の身近なサステナブルだよ!

・書いてあることをやってみよう!いろんなアクションがあるけど、できなくてもいいよ!

・アクションにチャレンジしたら、ポイントシートのとまったマスの番号と同じ枠に「✓」をつけよう

3 「みらいスコープ」マスにとまったら、未来に繋がる「みぢサス」を考えてみよう



・身近なサステナブル「みぢサス」を考える「みらいスコープ」マスが3つあるよ

・毎日の生活の中に、どんなみぢサスがあるかを考えてみよう!

・その内容は、どんな未来につながるのかな?

例えば、「カヤックが好きなので、保津川がお気に入りの場所!」⇒きれいな川でカヤックをしたいな。川ごみがなくなるように、しっかりごみを分別して捨てよう!

4 「かめおかみらいさんぽ」で友達と対戦してみよう!

・ポイントシートを2~5枚用意して、対戦もできるよ!順番にサイコロを振って、だれが先にポイントシートを埋められるかな?

・時間を決めて、ポイント制で競うこともできるよ。3つの「✓」が、タテ・ヨコ・なめにそろったら、1ポイント。だれが一番ポイントを獲得できるかな?一緒に遊ぶ人数によって時間の長さを決めて、遊んでみよう。(2~3人:15~20分、4~5人:20~25分くらいがおすすめです)

監修: 高木 超(たがき すすも) / 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教 亀岡市SDGsアドバイザー



イラスト: キモトユウコ / アーティスト:「かめおか霧の芸術祭」実行委員



「SDGsは難しくない。今と未来と一緒に考えてみよう」

最近「SDGs」や「サステナビリティ」という言葉がいろいろな場面で使われるようになりました。これは少し難しい言葉ですが、「今を生きている自分たちのことだけではなく、未来のことと一緒に考えること」と言いかえてみると、考えやすくなります。亀岡の今と未来が描かれた『かめおかみらいさんぽ』で楽しく遊びながら、あなたが未来の亀岡に残したいこと、未来の亀岡で実現したいことを考え、行動するきっかけにしてみたいかがてしょうか。

遠い未来が「身近な今の積み重ね」であるように、盤面の中の一人一人に、皆の願いと想像が詰め込まれています。遊びながら、地図の中に、未来の自分を見つけていただけたら嬉しいです。

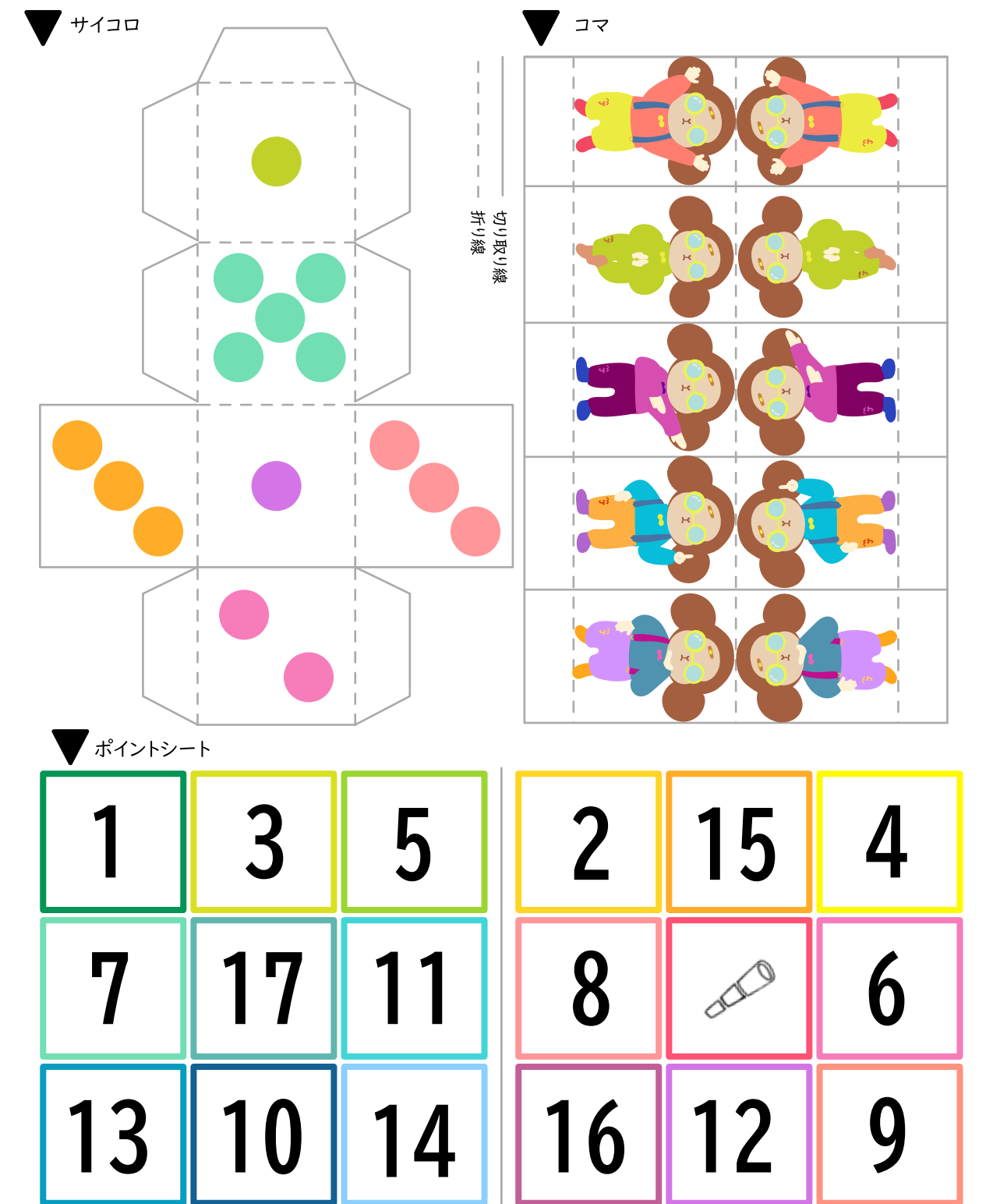
2025年3月発行
発行: 亀岡市企画調整課
〒621-8501 京都府亀岡市安野町々神8番地
Tel: 0771-25-5006
メール: yume-vision@city.kameoka.lg.jp

監修: 高木超
絵・デザイン: キモトユウコ
企画: 合同会社 Pens and Needles
印刷: 株式会社サンエムカラー

ゲームやリーフレットに関する詳細はこちら



このシートは切り取らないでね!切り取ってしまうと、ゲームの盤面が切れてしまうよ! 付属のシートで遊んだあと、またサイコロとコマが必要になったら、この面をコピーした紙を切り取って組み立てよう。



この印刷物は、使用した用紙と同じ重量のCO2を国内のオフセット・クレジット (J-VÉR) によって、カーボン・オフセットしています。

